

令和3年2月9日(火) 第33号



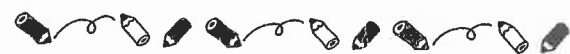
試験[中]、試験[後]の話



前回の学年だよりでは、受験前日と当日に「気をつけてほしいこと」を書きました。次は、いざ試験が始まってから「気をつけてほしいこと」を書いていきます。しっかり読んでおいてくださいね。

試験中の注意

- ※試験監督の先生・高校の先生・職員の方たちの指示をよく聞き、その指示にしたがって、落ち着いて、**丁寧な文字で受験番号や名前等を記入すること**。急ぐ必要はありません。乱雑な文字は、本当に×になる可能性があるばかりではなく、その人の性格や人柄があらわれるものです。気をつけましょう。
- ※今さらかもしれませんが、試験が始まったら、時間配分をよく考えて、できそうな問題から先に解いていくこと。解答欄を間違えることなく、いつでも丁寧な文字で解答を記入しましょう。
- ※試験中は問題用紙と解答用紙だけを見て、まわりをキョロキョロしないようにしましょう。
- ※最後まであきらめず、空白の解答欄を残さないように、答えを書ききりましょう！
- ※もしも早く終わっても、机に突っ伏して寝るなどということのないようにしましょう。「**乱雑な文字**」と「**机に突っ伏して寝る**」という態度は、本当にやる気があるのか疑われるものです。
- ※試験終了の合図できちんと筆記用具を置き、不正行為と見なされるような行動にはくれぐれも気を付けること。まぎらわしい行為もしないようにしよう。**人間は“魔が差す”生き物です。**
- ※1科目が終わったら、他の人と答え合わせをしがちですが、**廊下へ出る・トイレに行く・手を洗う**などして、気分転換を図ること。(特に「イマイチ調子が良くなかった」という人は、誰よりも気分転換が必要です。答え合わせなどせずに、気持ちを次の科目に持っていきましょう。)



以上の文章を読めばわかると思いますが、結局は「**中学校と同じ**」です。中学校で最初のテストである「1年1学期の中間テスト」のときから先生たちがいい続けていることです。こういったことは、“この日”のためにやってきたことなのです。それなのに、最近「文字が乱雑な人」、「早く終わったといって寝る人」が(少しですが)います。身についてしまった行動はなかなか抜けないものですが、ここに書いたことは、常に意識すればできるはずです。明日の受験では、先生たちは、もうキミたちに注意することができません。ただただ中学校からキミたちの幸運を祈るしかできません。よく考えてくださいね。

試験終了後の注意



- ※無事に試験が終了したら、試験監督の先生・高校の先生・職員の方たちの指示をよく聞き、**必要なことがあればメモをしておこう**。合格発表や入学手続きの話があるかもしれません。
- ※**次の日(11日)にも試験や面接があるという人**は、集合時間・場所等を再確認して、気を抜かずに帰宅すること。**持ち物は違う**でしょうが、「**集合時間が10日と違う**」ということもあり得ます。繰り返しますが、11日(木・祝)も朝から職員室には3年生の先生たちが控えています。何かあったら、**受験校に直接電話せず**、至急堀江中学校に電話連絡をすること。《TEL06-6531-7868》
- ※堀江中学校に報告に来る必要はありません。もし何かあったのなら**電話連絡**をしてください。
- ※高校を出ても気を抜くのはまだ早い! 《**家に帰るまでが受験**》です。まっすぐ家に帰ること。
- ※人事を尽くして天命を待つ! 全力を尽くしたら、その日はぐっすり眠りましょう。

試験が終わって家に帰るとき、どの受験生も緊張から解放されて、気持ちが切れてしまいがちです。そういうときに“魔が差して”トラブルも発生しやすくなります。キミたちは遊びに行っているのではありません。ここでも他校生に**翻弄**されることなく、まっすぐ家に帰ってきてください。こういう状況では、【**他校生(塾の友だち)とのトラブル・寄り道・買い食い**】などが予想されるトラブルです。これまでの中学校生活をふり返って、予想されるトラブルを必ず回避してください。



次の登校日(2/12・金曜日)の注意

- ※すでに合格発表があった人は、合格通知を持って登校し、担任の先生に報告すること。
- ※気持ちはわからないではありませんが、「**発表が気になるから休む**」のはやめましょう。先生たちもキミの顔を見て安心したいのです。(保護者のみなさまもご理解とご協力をお願いいたします。)
- ※専願で合格した人は、入学手続きの期限が近いと思います。納入金(呼び名はいろいろあります)を、期日までに必ず納めて、手続きを確実におこなってもらうこと。また、合格者説明会等がある場合も忘れずに参加すること。(保護者のみなさまもご理解とご協力をお願いいたします。)
- ※万が一、残念な結果になってしまった場合も、落ち着きを失わず、先生たちと一緒に、冷静に、次のことを考えましょう。きっと大丈夫ですから。



先生たちは、キミたちが今までやってきたことを、自信をもって精一杯発揮してくれと信じて、健闘を祈りながら職員室で待っています。そして、12日(金)以降は、**さまざまな状況の仲間、立場の異なる仲間**と、中学校生活の残りの日を過ごすこととなります。教室に掲示されている「卒業カレンダー」のように、本当に数えられるぐらいの貴重な日々を大切に、受験を続ける人への気遣いや優しさも忘れずに、61期生全員で、楽しく、温かく、和やかに学校生活を送りましょう。

保護者のみなさまへ

私たち教員の願いは、最後の5行に集約されています。この時期、専願で合格した生徒が、気持ちを緩め、生活態度が乱れるということが見られがちだからです。学校でも気をつけて指導しますが、ご家庭でもこういう話題を出すことで、心ひとつにご指導をしていただきたいと思います。何か困ったことがあれば、お互いに連絡をとり合って、丁寧に指導を続けたいと思っています。お願いいたします。

